

進路通信

伊丹市立天王寺川中学校第2学年
令和2年1月23日 第8号

～前回の続き～

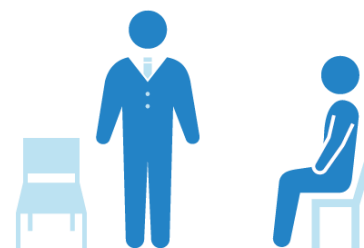
面接での基本動作であるおじぎ（礼）と着席についてまとめています。普段から意識して行っていくことで、自然に身についていくはずです。できている人、できていない人では印象が全く違います。

おじぎの基本



足をそろえて背筋を伸ばして立ち、あごを少し引いて面接官の顔を見ます。上半身をゆっくりと倒しながら、両手は自然に太ももに沿わせて行います。一拍静止してからゆっくりと上半身を起こし、もとの姿勢に戻ります。背中を曲げたままおじぎをしないよう注意しましょう。15度傾ける会釈、30度傾ける敬礼、45度傾ける最敬礼の3つが基本のお辞儀になっています。

着席の基本



指定された椅子の横に、姿勢を正して立ちます。基本的には勝手に座らず、「おかけください」と言われてから一礼し、慌てず静かに椅子に腰を下ろします。椅子は深く座りすぎないようにして、背筋を伸ばし、足をそろえ、手は太ももの上に置きます。

○面接

提出した書類や課題の内容に沿って質問されます。「志望理由」「入学後のビジョン」「将来の進路」「自己PR」「中学校生活で力を入れたこと」などの基本的な項目の他、「最近のニュースについて思ったこと」「志望学科（コース）に関する専門知識」なども聞かれる場合があります。面接官の顔をしっかりと見て話を聞き、答えるときは相手の目を見て答えましょう。言葉遣いに注意し、質問の趣旨から脱線しないようはっきり答えることが大切です。問われたことに対して一言で返すより、そう思う理由も一緒に述べるとよいでしょう。

チェックポイント

- 答えが質問の趣旨からずれないように！
- 相手の顔を見て受け答えすることが大事。
- はっきりとした口調で、自分をアピールしよう！